

第5回 名古屋市立中学校における部活動のあり方懇談会

意見交換 説明資料

令和6年1月22日（月） 10:30～12:00

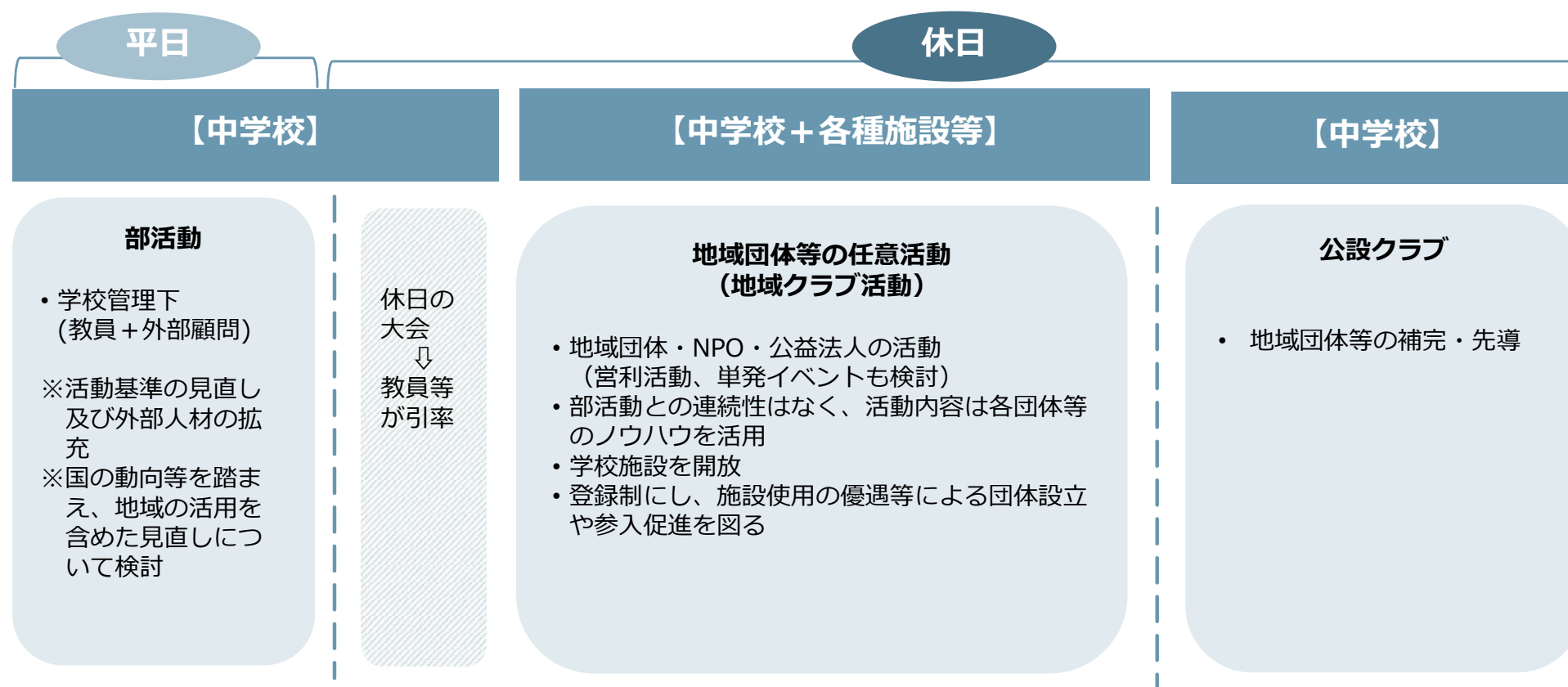
目次

1. 見直し方針について（総括）
2. 各種の課題について

見直し方針について（総括）

○中学校部活動の見直し方針

- ・令和7年10月から、休日の部活動を見直し、活動は大会参加等のみとする。これに併せ、学校施設を開放し、様々な主体による地域クラブ活動を誘致する。
- ・令和6年10月から、平日の部活動を見直し、10月～3月の活動は週4日×1.5時間とする。
- ・平日の部活動については、今後、国の動向や休日の活動・地域人材の状況を踏まえ、地域活用を含めた見直しの検討を行うが、当面は、活動時間・日数の見直しに加え、外部人材の拡充等により、教員の負担軽減と指導者の育成を図る。



活動・求人情報の提供、団体登録、施設利用、寄附受付等を行うプラットフォームを設置

見直し方針について（総括）

○今後のスケジュール

	R6.4～9	R6.10～R7.3	R7.4～9	R7.10～R8.3
地域移行	活動団体・事業者等への参入意欲調査	学校開放モデル実施制度設計	本格実施に向けた準備（団体登録、学校開放に係る調整等）	本格実施
活動基準の見直し	- 平日：週4日×2時間 - 休日：週1日×3時間 - 長期休業：週5日×3時間 - 各種大会等：年24日	- 平日：週4日×<u>1.5時間</u> - 休日：月2回×3時間 - 長期休業：週5日×3時間 - 各種大会等：年24日	- 平日：週4日×2時間 - 休日：月2回×3時間 - 長期休業：週5日×3時間 - 各種大会等：年24日	- 平日：週4日×1.5時間 - 休日：<u>大会参加等のみ</u> - 長期休業：週5日×3時間 - 各種大会等：<u>年10日</u> <u>（うち土日6日）</u>

各種の課題について

見直し方針を採用した場合に考えられる課題と論点、今までの懇談会においていただいた意見を踏まえた方策（案）については、以下のとおり

課題	論点	方策（案）
地域団体・指導者の確保	- 活動機会の量的な確保をいかに行うか - 指導者の確保をいかに行うか（人材の奪い合いへの懸念）	- 営利活動等も含む幅広い活動を対象とし、学校開放やプラットフォームの活用による支援等を通じた活動誘致 - 本市人材バンクでの求人情報掲載（中学生への指導希望者へ対象を拡大）
質の担保 （活動・指導者）	- 活動内容への行政の関与の度合い - 生徒への教育的配慮が可能な人材をいかに育成するか	- 多様な活動が行われるよう、行政の関与は原則として抑制的であるべき。ただし、指導者への研修や団体登録の要件を設ける等により質の担保に配慮 - 子どもへの接し方、適切な指導方法等を内容とする研修の実施と教員の兼職兼業の活用
受益者負担	受益者負担をいかに抑制するか	- 営利目的の活動とともに、無償の活動も併せて誘致（CSRの観点から） - 学校施設の使用における非営利活動に対する優先権の付与
制度周知・機運醸成・ 官民連携の促進	- 生徒への訴求、保護者を含めた機運醸成をいかにするか - 官民連携の具体的な方策	- プラットフォームへの効果的な誘導策や積極的な広報活動等、機運醸成へ向けた方策 - 寄附や連携協定の締結等による活動提供